

日本語文演習

東京女学館大学 宮嶋宏行

授業ガイドライン

- 基礎ゼミとして、日本語技術のトレーニングもしながら、**レポート作成**や**レジュメ**、**プレゼン**など来るべき専門教育につなげるための基礎学力を身につけることを目的とする。

授業内容

回数	日	内容	期末レポート
1	4/13	イントロダクション 問答ゲームなどを用いて、立論、根拠、結論の語法に慣れる	期末レポートのテーマを考える 図書館で調査できるものに限る ネットは禁止
2	4/20	読み方1 リーディングスキルを高める 小見出しをつける 等	
3	4/27	読み方2 リーディングスキルを高める 要約 等	
4	5/11	書き方1 日本語表現法(原稿用紙の使い方など)	GW明けにレポートのテーマを提出または発表する
5	5/18	書き方2 意見文(賛成/反対、立論、論拠、結論等)	
6	5/25	書き方3 新聞投稿 & レポートの書き方	
7	6/1	書き方4 レポートの書き方 & 引用の仕方	
8	6/8	書き方5 情報倫理 & レポートの書き方の演習	
9	6/15	図書館での情報検索 文献探しと書誌づくり	図書館でレポートの 参考文献一覧 を作成し提出する
10	6/22	レジュメの作り方1 ガイドライン	参考文献一覧返却
11	6/29	レジュメの作り方2 演習	中間レポート提出 A4×2枚程度
12	7/6	プレゼンの技術1 ガイドライン	中間レポート返却
13	7/13	プレゼンの技術2 演習	
14	7/20	2クラス合同 プレゼンテーション 1人.5分+質疑2分	レジュメ提出 A4×1枚
15	7/27	2クラス合同 プレゼンテーション 1人.5分+質疑2分	
期末			最終レポート提出

成績・出欠について

- <配点>
 - 出席 50点
 - 中間レポート 10点
 - プレゼンテーション 20点(レジュメ点含む)
 - 最終レポート 20点
 ※正当な理由なく、以上4つの項目のうち1つでも0点の場合は単位を認めない
- <出欠席の扱い>
 - 5回欠席したら自動的にFとする。
 - 3回の遅刻で1回の欠席とみなす。遅刻とは、出席を取り終わってから授業開始30分までとする。
 - 30分を過ぎた遅刻は欠席とみなすが、入室は妨げない。
 - 15分以下の遅延証明書は認めない。
 - 第10回までに5回欠席した者は中間レポート提出を認めない。
 - 第13回までに5回欠席した者はプレゼンテーションを認めない。

参考文献

- 大学生 学びのハンドブック 世界思想社
1300円+税

大学の授業形式

形式	規模	内容と必要なスタディ・スキル
講義	大人数 (本学は少人数)	先生が教壇に立って授業をする。 ノートのとり方
ゼミ (演習)	少人数	学生が調べてまとめたことを口頭発表し、それについてみんなで議論する。 レポートの書き方 ゼミ発表の仕方
実習・実験	少人数	実際に体験したり、仮説の検証のために調査や実験をしたりする。調査や実験の結果はレポートにまとめる。 レポートの書き方

高校の授業と大学の講義の違い

大学の授業形式: 講義、ゼミ(演習)、実験・実習

	高校	大学
授業の進め方	板書中心	話すことが中心
授業と教科書	科目によって学習内容が決められている。 教科書に沿って授業が行われる。	先生が独自に授業を考え、教科書も指定する。 教科書に沿って授業が行われるとは限らない。
黒板の使い方	大事なポイントは先生が黒板に書いてくれる。	使わない先生もいる。

大事なポイントは先生の「話の中」に潜んでいる

ノートのとり方

- 黒板を写すだけではダメ
- 講義内容が思い出せるように
- ノートの完成は講義のあとで
- 試験にも役立つノート作りを

感想文とレポートの違い

	感想文	レポート
内容	感じたままを表現する	「主張」とそれを支える「根拠」を述べる
構成	書きたい順序で	決まった形式に沿って
視点	主観的・個人的	客観的・一般的

レジュメ: 発表内容を簡潔にまとめたプリント。発表を聞く人に配る。

自己紹介をしよう

二人ペアで各自3分間自己紹介してください。
途中で相手に質問をしてください。
相手の話している内容をメモしてください。

質問に答えるときの規則

- 整った文で話す
- 省略せずに話す
- 主語、目的語を入れて話す(第1人称を省略しない)
- 自分の意見をみんなの意見にすり替えない
- ナンバーリングを用いて考えを整理して考える
- 論理的に筋道を立てて答える
- 「わからない」「別に」「知らない」と答えない
- 質問に対して直接的に、具体的に答える
- 話題をそらしたり、問われていないことに言及したりしない

問答ゲーム

- 討論は、テーマや質問の内容に沿って、互いの意見を交換しながら考えを掘り下げていくために実施される。
- 討論を行うためには問答の技術を学ぶ必要がある。
- このトレーニングを問答ゲームという。(つくば言語技術教育研究所)

問答ゲームの目的

- 相手の問いに即座に的確に答える技術の獲得
- 矢継ぎ早に質問されたときに対応できる思考力と精神力の鍛錬
- 結論を述べてから理由を言う技術の獲得
- 自分の考えに対する責任の認識
- 論理的思考力の育成
- 対話の中身を構成する力の獲得
- 討論・ディベートの基礎技術の獲得
- 世界に通用する「問答型コミュニケーション・スキル」の獲得

第2講 読み方1

大学で読む文章

教科書の違い

	高校	大学
教科書	学校の授業専用	一般書店でも売られている 学術書 や 入門書
教科書の内容	はじめて学ぶ人のために丁寧に説明	専門的な事柄の説明や論証
授業	教科書に対応して進む	教科書に対応して進むとは限らない

科目ごとに決まった学習内容があるわけではない。先生が独自に組み立てる。

学術的な文章

- 論文、専門書、研究・調査報告書
- 学術的な文章 = **主張 + 根拠**
- 一定の形式で書かれている。
 - 序論: どんな問題(問い)について「どんな結論(主張)」を導くのかを予告する。
 - 本論: なぜ、その結論(主張)が導かれているのかを、「根拠」を積み重ねて説明する。
 - 結論: 積み重ねた根拠から、問題に対してどんな結論(主張)が導かれたのかをまとめる。

文章を読む姿勢

- 本が正しいとは限らない。
- 学術的な文章は1人の筆者の意見。
- 検証しながら読む。
- 批判的な読み方(クリティカル・リーディング)
 1. 筆者の主張を正しく理解する。
 2. 筆者の主張や根拠に対して
 - その根拠から本当にその主張が導けるのか?
 - 他の条件でも、その主張は成り立つのか?
 - その根拠自体、本当に正しいのか?と疑問を投げかけて、検証しながら読む。

場面に応じた文章の読み方

- 予習するとき
 - 教科書にざっと目を通す(下読み)。
 - 全体的なイメージをつかむ。
- 復習するとき
 - 教科書をじっくり読む(精読)。
 - 序論、本論、結論を意識しながら丁寧に読む。
- レポートを書くとき
 - 調べたいテーマの情報をみつける(探し読み)。
 - 細かく、じっくり読む(精読)。
 - 文章全体にざっと目を通し、必要な部分だけをピックアップして読む(スキヤニング)。

読み方のテクニック

- 「はじめに」をはじめに読む。
 - テーマ(何を扱っているのか)、目的(なぜ、そのテーマを取り上げたのか)、結論などについて書かれている。目次にも目を通す。
- 目印をつける。
 - 付箋を活用する。自分の考えをメモする。
- 索引を活用する。
 - 語句の輪郭をつかむことができる。使用頻度。
- つなぎの表現に着目する。
 - したがって(結論)、しかし(反対)、つまり(言い換え)、なぜならば(理由)、一方(対比)

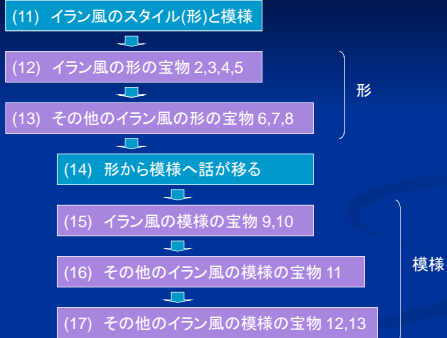
例題3 問題 正倉院とシルクロード

1. 正倉院が「世界の宝庫」と呼ばれているのはなぜだと思いますか。
2. 正倉院に納められている宝物・品物の中で、この文章で具体的にあげられていたのは何点ぐらいあったと思いますか。
3. 具体的にあげられていたその宝物・品物のうち、シルクロードを通してイランからやってきたものは何点ぐらいあったと思いますか。
4. この文章の中で仏教と正倉院の関係はどのように書かれていたと思いますか。

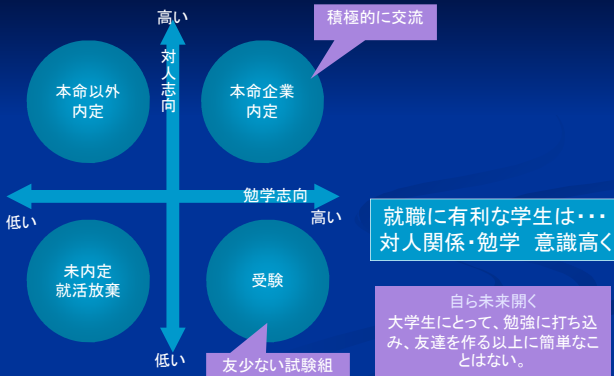
例題3 解答

1. 世界の品物が所蔵されているから
2. 13点
 1. 没食子(もっしょくし)
 2. 鳥の口の形をした水さし
 3. 白るりのわん
 4. 銀薫炉
 5. すごろくばん
 6. ハーフ
 7. 五弦びわ
 8. 四弦びわ
 9. 銀のつぼ
 10. にしき
 11. 楽器
 12. 織物
 13. びょうぶなど
3. 1点
4. 書かれていない

例題3 関係を図で表わす



「対人」「勉学」志向と就職の関係



過去1週間にどんなニュースがありましたか？

第3講 読み方2

学術的な文章を読んでみよう

学術的な文章を読んでみよう

- 岡田朋之(2002)、メディアの普及理論と対人関係、ケータイ学入門、有斐閣
- 筆者の言いたいことは何だろう？
- タイトルをチェックしよう。
- 指示語が指し示すものに注意しよう。
- つなぎの表現に着目しよう。
- 具体的な記述から筆者の主張内容を把握しよう。

第1段落

- ケータイをもちはじめた理由は？
 - 外出が多い
 - 何か緊急のときに便利
 - 待ち合わせに便利
 - 友達がもっていたから
 - 彼氏や彼女がもっていたから
- 最後の2つは、メディアが普及する際に重要な意味をもっている。

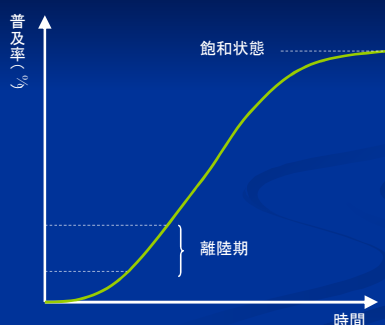
まとめ
新しいメディアの普及には、「友達や恋人がもっている」ということが重要な意味をもつ。

第2段落

- 新しいテクノロジーが普及する過程：S字曲線
 - 初期：初期導入者の中で広まっていく時点では、普及の伸びは緩やか。
 - 離陸期：10%~25%に達したあたりから普及率が急激な伸びを見せるようになる。
 - 飽和期：社会のなかに広く行き渡って飽和状態になるまで続く。

まとめ
新しいテクノロジーが普及する過程として、これまではS字曲線が一般的なモデルであった。

S字曲線

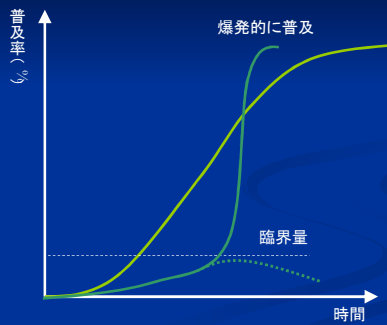


第3段落

- 双方向的な通信技術が普及する場合
- 臨界量の概念が意味をもつ。
- 通信メディアはひとりだけでもなくても意味がない。
- それゆえ
- もっている人が少ないとき、普及の伸びはより緩やか。
- だが
- (もっている人が)一定の水準を超えると爆発的に普及
- 逆に
- (一定の水準を超えないと)受け入れられないまま衰退
- つまり、「臨界量」とはこの(普及するかしないかの)節目となる値

まとめ
双方向的な通信メディアにおいては、普及が大きく進むか否かの節目となる「臨界量」の概念が意味をもつ。

臨界量



第4段落

- メディアの普及が臨界量を超えると、それをもっていないことが不利にはたらく。
 - 大学生の9割以上がケータイを所有。
 - ケータイをもたない者との連絡は不便。
 - **そのため**
 - ケータイをもたざるを得ない状況になる。
- ケータイをもちはじめた理由は、こうした側面と深い関わりがある。

まとめ
臨界量を超えてメディアの普及が進むと、それをもっていないことが不利にはたらくので、みんながもつようになる。

最終段落

- メディアの普及には
- 「機能やサービス」だけではなく
- 「人間関係における利用のされ方」も重要

まとめ
メディアの普及に関しては、人間関係における利用のされ方も重要である。

まとめのポイント

- 繰り返し出てきた言葉や話題に着目。
 - キーワードの可能性あり。
- つなぎの表現から、段落間の関係をとらえよう。

文章全体をまとめると

1. 新しいメディアの普及には、「友達や恋人がもっている」ということが重要な意味をもつ。**筆者の主張(序論)**
2. 新しいテクノロジーが普及する過程として、これまではS字曲線が一般的なモデルであった。
3. 双方向的な通信メディアにおいては、普及が大きく進むか否かの節目となる「臨界量」の概念が意味をもつ。
4. 臨界量を超えてメディアの普及が進むと、それをもっていないことが不利にはたらくので、みんながもつようになる。
5. メディアの普及に関しては、人間関係における利用のされ方も重要である。**まとめ(結論)**

まとめ
携帯電話のような双方向メディアの普及には、人間関係における利用のされ方が重要な意味をもつ。なぜなら、臨界量を超えて普及が進み、多くの人がそのメディアをもっている場合には、それをもっていないことが不利にはたらくからである。

練習1

課題0 大きいことはいいことか？

大きいことの利点

体温を保ちやすい

“表面積／体積”は“長さ”に反比例・・・温度変化に耐えやすい
 恒時性・・・正確で細かい運動ができる
 高温性・・・速い運動ができる

乾燥に強い

上記と同じ理由・・・表面から逃げていく水分の量が相対的に少ない。

飢えに強い

脂肪の蓄積が可能。体重あたりのエネルギー消費量はサイズの大きいものほど少ない(次章以降で説明)。

余裕がある

大きいほうが代謝率が低い。細胞レベルで見ても余裕がある。・・・①知能が発達する余裕が生まれる。②長生きするのでじっくり学ぶことができる。③食事に当てる時間が短く、時間的に余裕がある。

強い

足の速さや体重で圧倒できる。

環境

要約

- 体が大きいことの利点は5つある。
- 1つ目は、体温を一定に保ちやすいことである。表面積／体積は“長さ”に反比例するため体が大きい方が体温を保ちやすい。これにより恒時性と高温性が得られ、安定した正確な早い運動ができる。
- 2つ目は、乾燥に強いことである。1つ目と同じ理由で、体が大きい方が表面から逃げていく水分の量が相対的に少なく乾燥に強い。
- 3つ目は、飢えに強いことである。体重あたりのエネルギー消費量はサイズの大きいものほど少ないため飢えに強い。1つ目から3つ目までは環境に左右されにくいという利点である。
- 4つ目は、余裕があることである。細胞レベルで余裕があり知能が発達する余裕、長生きするのでじっくり学ぶ余裕、食事に当てる時間が短いため得られる時間的な余裕の3つである。
- 5つ目は、強いことである。足の速さや体重で圧倒すれば、より多くの子孫を残せる可能性が高い。

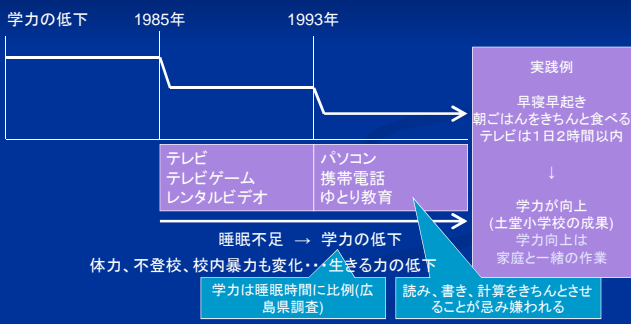
練習2

例題9 新聞記事の内容を整理する

- 百マス計算の陰山英男による説明会の記事
読売新聞2004.12.20

例題9 解答例・・・時系列

学力低下の原因は、ゆとり教育ではなく、睡眠不足である。



例題9 解答例・・・表

学力低下の原因は、ゆとり教育ではなく、睡眠不足である。

体力、不登校、校内暴力の変化	1985年ー	1993年ー
原因	テレビ テレビゲーム レンタルビデオ	パソコン 携帯電話 ゆとり教育
結果	睡眠不足	睡眠不足 読み、書き、計算が怠まれる

早寝早起き
朝ごはんをきちんと食べる
テレビは1日2時間以内
学力が向上 (土堂小学校の成果) ... 学力向上は家庭と一緒に作業

第4講

書き方1
日本語表現法(原稿用紙の使い方など)

原稿用紙の使い方

練習:要約

第5講

書き方2 意見文(賛成/反対、立論、論拠、結論等)

レポートって何だろう？

- 根拠にもとづいて主張を述べた文章
- 短めの論文
- 「～について賛成か反対かを述べなさい」
- 「～に関連して、2000字程度で自由に書きなさい」

感想文とレポートの違い

	感想文	レポート
内容	感じたままを表現する	「主張」とそれを支える「根拠」を述べる
構成	書きたい順序で	決まった形式に沿って
視点	主観的・個人的	客観的・一般的

レジュメ:発表内容を簡潔にまとめたプリント。発表を聞く人に配る。

レポートのルール

1. 主張の「根拠」を示す
2. 3部構成で組み立てる
3. 「先行研究」をふまえる
4. 決まった形式を守る

ルール① 主張の「根拠」を示す

- 主張と根拠はセット
- 「事実」と「先行研究」が根拠になる。

ルール② 3部構成で組み立てる

- 「序論」、「本論」、「結論」の順番
 - 序論: どんな問題(問い)について「どんな結論(主張)」を導くのかを予告する。
 - 本論: なぜ、その結論(主張)が導かれているのかを、「根拠」を積み重ねて説明する。
 - 結論: 積み重ねた根拠から、問題に対してどんな結論(主張)が導かれたのかをまとめる。
- 結論を最初に述べる。序論で予告。

ルール③ 「先行研究」をふまえる

- 引用
 - 他人の言葉や文章を借りてくる。
- 自分の文章と他人の文章をはっきり区別
 - 「」で区別する。元の文章と一字一句違ってはいけない。
 - 省略するときは、(中略)のように記述。
 - 著者名、発表年、ページなどを()でくっつけて示し引用元がわかるようにする。

ルール④ 決まった形式を守る

- 「である調」、話し言葉は使わない。
- 指定された体裁を守る。
- 文字数、横書き・縦書き、表紙の有無、手書き・ワープロ打ち、ワープロ字詰め
- 最初に「表題」、最後に「参考文献」
- 参考文献リストの書き方

第6講

書き方3 新聞投稿 & レポートの書き方

第7講

書き方4 レポートの書き方 & 引用の仕方

レポート作成の手順

- 何を取り上げるかを定める。
- 本を読んで情報を集める。
- 疑問や発見から「問い」をたてる。
- 「問い」の答えとなる「主張」を予想する。
- 「主張」を裏付ける「根拠」を集め、主張を決定する。
- レポートの構成を考える。
- 執筆・推敲する。
- 提出前の確認。

レポートの書

レポートの書

レポートの書

第8講

書き方5 情報倫理 & レポートの書き方の演習

第9講

図書館での情報検索
文献探しと書誌づくり

資料とは？

- 自分の主張の根拠となる材料＝資料
- レポートを書くときの資料の使い分け

場面	使える資料	探す場所
テーマの輪郭をとらえる	本	①図書館 ②書店
根拠となる「先行研究」を探す	本	①インターネット ②図書館
	雑誌	①インターネット ②図書館
根拠となる「事実」を探す	新聞記事	①図書館 ②インターネット
	統計資料	①インターネット ②図書館

本を探す

- 入門書や新書でテーマの輪郭をつかむ
- 大学図書館で本を探す
- 書店で本を探す

雑誌論文を探す

- 知りたいテーマの最新の話題が分かる
- テーマをキーワードにして探す
- データベース
 - NLD-OPAC(国立国会図書館)
 - CiNii(サイニイ)(国立情報学研究所)

新聞記事を探す

- 新しい情報が得られる
- 歴史資料として使える
- 大学図書館で読む(縮刷版、記事検索サービス)
- 新聞記事は客観的な情報とは限らない

統計資料を探す

- 説得力のある根拠になる客観的な「事実」
- 総務省統計局のサイト
- 情報を使ったら出典を明示する
- インターネット上の情報は裏付けをとる

大学図書館での本の探し方

- 書架を見て探す
 - テーマを決める手がかり
- インターネットで探す
 - 見たい本が決まっている
 - 対象を広げて探す
- 目録・書誌で探す
 - テーマが決まっている
 - 先行研究が進んでいる
- レファレンスサービス(図書館の人に相談)
 - 探し方が分からない
 - その他

インターネットで探す

- 図書館の全書籍を対象に本を探す
 - 自分の大学の図書館のOPAC(Online Public Access Catalog)
- 全国の図書館の蔵書から探す
 - Webcat Plus(国立情報学研究所)
- 国立図書館の蔵書から探す
 - 国内で発行されるすべての刊行物を保管する役割を持っている
 - NDL-OPAC(国立国会図書館)

第10・11講

レジュメの作り方1 ガイドライン レジュメの作り方2 演習

レジュメ

- レジュメ=フランス語で要約、要旨、概要
- 発表内容を簡潔にまとめたプリント。発表を聞く人に配布する。
- レジュメを読んだだけで、大まかな内容を把握できるようにする。
- あまりにも詳細な記述は、レポートと変わらなくなり、読み手がレジュメを読み込んでしまい発表に集中してもらえない。
- レポートとレジュメの違い
 - レポート: 読んで理解するもの
 - レジュメ: 発表を聞いて、その理解を助けるためのもの
- 視覚的なわかりやすさ
 - 文字の大きさ、字間、行間、フォントの使い分け、アンダーライン、囲み
- 内容的なわかりやすさ
 - 章、節、項による階層の明示、図表
- 例
 - 良いレジュメ例
 - 悪いレジュメ例

ゼミ発表

- 10~20人ぐらいの少人数で行う参加型の授業。ゼミの目的は、あるテーマについて参加者が意見をかわしたりしながら、理解を深めることである。
- ゼミ発表とレポートの違い
 - 次に示す2~4の手順はレポートと同じ。
 - 口頭で伝えるか文章で伝えるかの違い。

ゼミ発表の準備

1. 発表形式の確認する。
2. 何を取り上げるかを決める。
3. 「問い」をたて、「主張」を決定する。
4. 発表の構成を考える。
5. レジュメを作る。
6. リハーサルをする。
7. 質疑応答に備える。
8. レジュメをコピーする。

ゼミ発表の実際(1)

- 流れ
 - レジュメや資料の配布
 - 発表
 - 質疑応答
- 発表の注意点
 - 大きな声でゆっくりと。
 - 下を向かず聞き手の反応を見る。
 - レジュメのどこについて話しているのかを示す。
 - 制限時間を守る。

ゼミ発表の実際(2)

- 発表
 - プリント
- 質疑応答
 - 発表の後は質問に答える。
 - 質問の意図を確かめる。
 - 回答は結論から簡潔に説明する。
 - 分からないときは、分からない理由をきちんと説明する。
- 聞き手の心得
 - ゼミ発表を盛り上げる。
 - 発表者が一番伝えたいことを理解する。
 - 質問のためにメモを取ろう。